

科目名	ボランティア活動					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	実技・実習	開講期間	集中	配当年次	1	授業番号	7221

●授業のテーマ

ボランティア実践 –真のボランティアとは–

●到達目標

ボランティア活動では、ボランティアの基本といわれている自発性、無償性とは何かなどについて実践的に学び、理解する。

●学習内容(授業概要)

ボランティアは自発性を重んじること、対象者のためにあること、ボランティアをする側の動機が重要である。結果的にその行為がボランティア自身に返ってくるものだということを実践的に学ぶ。ボランティアは実践することによってその本来の意味が理解できるのであり、実践した行為を振り返ることによってボランティアの質を高めていくことを体験的に学ぶ予定である。ボランティア活動では、ボランティアを実際に立案し、計画する。事前学習、実践、事後学習（振り返り）といった一連の流れを重んじる。対象者のことを第一に考え、学生参加型の楽しい活動にしたいと考えている。

尚、長年、ボランティア実践を継続的にしておられる専門家の特別講師をお招きし、ボランティア実践のエッセンスお話していただく予定である。

尚、実践活動は、知的障害者とその家族、健康な高齢者を対象としたと取り組みを予定している。

[キーワード]動機、実践、自発性

●学習内容(授業計画)

- 1 事前学習
- 2 オリエンテーション
- 3 動機について
  - なぜボランティア活動を受講しようと思ったのか–
- 4 ボランティアとは
- 5 特別講師の講義（事前学習）
- 6 立案・計画
- 7 事前準備
- 8 実践活動①準備
- 9 実践活動②運動
- 10 実践活動③レクリエーション
- 11 実践活動④グループワーク
- 12 特別講師の講義（事後学習）
- 13 実践の振り返り①フォローアップ
- 14 実践の振り返り②今後の向けて
- 15 報告書作成

●準備学習・事後学習の内容

ボランティアに関する資料、新聞記事などを読むように心がけ、授業後には、授業における実践的な学びの要点をまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

活動体験発表（50%）、ボランティア実践活動報告書（レポート）（50%）により総合的に評価する。

●テキスト（必携）

講義時に指示。

資料を配付する。

●参考文献／その他

講義時に指示。

その他、資料を配布する

●履修上の注意

ボランティア活動であるため、実践活動を重んじる。真にボランティアをしたいと思っている学生の参加を望む。主に知的障害者とその家族、健康な高齢者への実践活動を予定している。